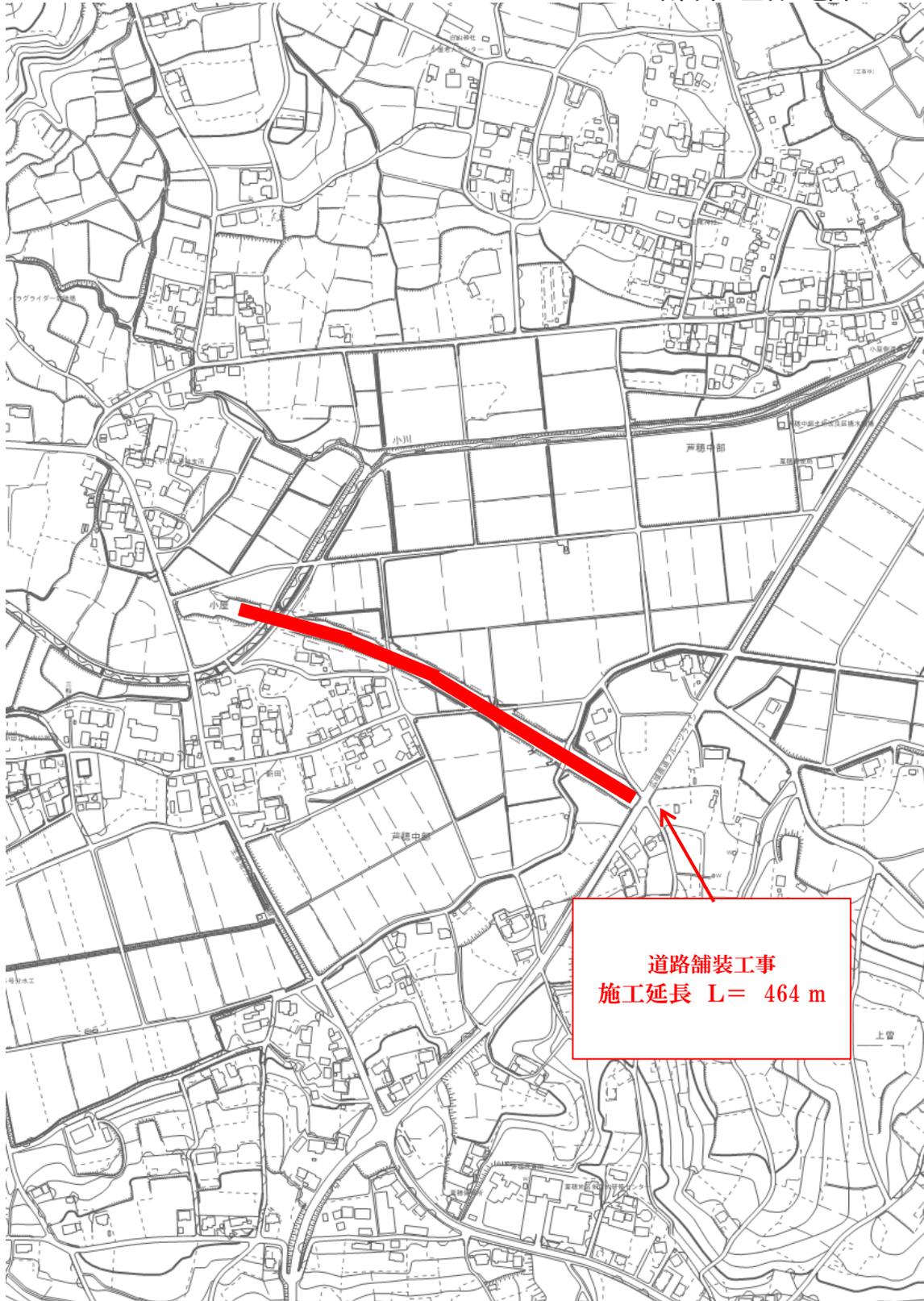


工事起工 概要書

部 長	次長	課長	課長補佐	係長	課員	審査員	設計者			
執行年度		平成 29 年度								
工事番号 工事名		第 29-01-111-3-755号 29国補・市道B3755号線道路舗装工事 起工 設計書								
工事場所 又は履行場所		石岡市 上曾								
施工方法		請負			原契約年月日		年 月 日			
工期又は 履行期間		平成 年 月 日 から平成 年 月 日 まで 120 日間								
受注者										
費 目		起 工		第 1 回変更		増 減 (△)				
起 工 額								変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率		
請負(委託) に付する額								請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$		
工事(業務) 価 格								(小数第7位切り捨て6位止め)		
測量試験費 又は工事雑費								変更積算工事価格 - 円		
消費税相当額								請負比率 -		
請負(委託) 決 定 額								変更工事価格 - 円		
工 事 概 要										
内 容		規格 1	数量 1	単位 1	規格 2	数量 2	単位 2	規格 3	数量 3	単位 3
道路改良工事		L =	464	m	W =	7.2	m	車線数		車線
土工 N = 1.0 式										
表層工 A = 3620.0 m ²										
基層 A = 674.0 m ²										
中間層 A = 552.0 m ²										
変更理由										

位置図

29国補・市道B3755号線 道路舗装工事
石岡市 上曾 地内



道路舗装工事
施工延長 L = 464 m

特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

第4条 工事施工の作業時間帯は、下表を標準とすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたりサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
舗装工	再生アスファルト	再生密粒As20, 再生細粒As13, 再生粗粒As20
路盤工	再生クラッシャー	RC-40

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1)積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3)資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあつ

ては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、別添図面のとおり、交通誘導員(特に必要な場合、交通誘導警備業務に係る一級または二級検定合格警備員を含む)及び保安要員を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに、別添図面の配置により難しい場合には、監督員と協議すること。

(発生土の処理)

第10条 本工事における発生土については、監督員の指示する場所に処理すること。

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不

- 用のたて杭等における危険の防止，昇降設備の設置，墜落危険箇所の立入禁止等により，墜落・転落災害の防止措置を講じること。
- (2)受注者は，建設機械による作業に先立ち，当該建設機械の転落，地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため，地形や地質の状況等を調査し，作業計画を定めてから作業を行うこと。また，作業中は，機械の制限速度，転落・接触等の防止，誘導者の合図，運転者が運転位置から離れるときの措置，機械の移送，搭乗・使用の制限，修理等について，関係法令を遵守すること。
- (3)受注者は，地山の掘削作業に先立ち，地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは，作業箇所及び周辺の地山について調査し，掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また，土砂崩壊災害の防止等のため，手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工，防護網の設置，作業員の立入禁止，埋設物等による危険の防止，掘削機械等の使用制限，誘導者の配置，保護帽の着用，照度の保持等について，関係法令を遵守すること。
- (4)受注者は，建設機械の操作や玉掛け作業を，法令で定める免許を有する者，または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
- (5)受注者は，掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから，地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
- (6)受注者は，土止め支保工の切り梁，腹起こしの取り付け，取り外し作業を行う場合，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから，土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は，監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは，協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には，監督員と協議のうえ，その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
道路土工			1	式		
掘削工			1	式		掘削 54.000 m3
路体盛土工			1	式		路体(築堤)盛土 100.000 m3
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式		床掘り 24.000 m3 埋戻し 11.000 m3
側溝工			1	式		プレキャストU型側溝 83.000 m 側溝蓋 35.000 枚
集水柵・マンホール工			1	式		プレキャスト街渠柵 1.000 箇所
管渠工			1	式		暗渠排水管 26.000 m
舗装			1	式		
舗装工			1	式		
舗装準備工			1	式		不陸整正 552.000 m2 調整コンクリート 17.000 m2
アスファルト舗装工			1	式		路盤工(歩道部) 417.000 m2 基層(車道部) 674.000 m2 中間層(車道部) 552.000 m2 表層(車道・路肩部) 3,742.000 m2 表層(歩道部) 572.000 m2 路盤工(取付道) 60.000 m2
橋面防水工			1	式		橋面防水 227.000 m2
縁石工			1	式		
縁石工			1	式		歩車道境界ブロック 17.000 m

工事数量総括（内訳）表

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
防護柵工			1	式		
防止柵工			1	式		転落(横断)防止柵 413.000 m
共通仮設			1	式		
共通仮設費			1	式		
安全費			1	式		交通誘導警備員 14.000 人日
直接工事費計			1	式		
共通仮設費（率計上）			1	式		
共通仮設費計			1	式		
純工事費			1	式		
現場管理費			1	式		
工事原価			1	式		
一般管理費等			1	式		
契約保証費用			1	式		
工事費計			1	式		
工事価格			1	式		
消費税相当額			1	式		
請負工事費			1	式		

本工事費内訳書

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良									
道路土工									
掘削工									
掘削					54.000	m3			
掘削 土質(土砂), 施工方法(オープンカット), 押土の有無(無し), 障害の有無(無し), 施工数量(50,000m3未満)					54.000	m3			施工P 第0001号代価表
路体盛土工									
路体(築堤)盛土					100.000	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員(2.5m以上4.0m未満)					100.000	m3			施工P 第0002号代価表
排水構造物工									
作業土工									
床掘り					24.000	m3			
床掘り 土質区分(土砂), 施工方法(標準), 土留方式の種類(無し), 障害の有無(障害無し)					24.000	m3			施工P 第0003号代価表
埋戻し					11.000	m3			
埋戻し 施工方法(最大埋戻幅1m未満)					11.000	m3			施工P 第0004号代価表
側溝工									
プレキャストU型側溝					83.000	m			

本工事費内訳書

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				U型側溝[市場単価] 作業区分(据付け), L=1000・L=4000・L=5000 使用の有無(無), U型側溝の種類(側溝(各種)), U型側溝の規格・仕様(L=2000mm), U型側溝の質量 (1000kg/個以下), 施工規模(50m以上(標準)), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正 (無), 施工箇所における補正(無), 基礎砕石施工の有無 (有), 基礎砕石の種類(再生クラッシュラン40~0), 基礎砕石設計数量(実数入力)(0.6 m ³ /10m)	83.000	m			
				側溝蓋	35.000	枚			
				蓋版[市場単価] 作業区分(据付け), 蓋版の種類(蓋版(各種)), 蓋版の質量(40を超え170kg/枚以下), 時間的制約 を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無), 施工箇所における補正(無)	35.000	枚			
				集水柵・マンホール工					
				プレキャスト街渠柵	1.000	箇所			
				プレキャスト集水柵 作業区分(据付), 製品質量(kg/基)(800kgを超え 1200kg以下), 基礎砕石の有無(有り)	1.000	基			施工P 第0005号代価表
				プレキャスト集水柵(材料費)	1.000	基			施工P 第0006号代価表
				管渠工					
				暗渠排水管	26.000	m			
				暗渠排水管 作業区分(据付), 管種別(直管), 呼び径(200~ 400mm)	26.000	m			施工P 第0007号代価表
				舗装					
				舗装工					
				舗装準備工					

本工事費内訳書

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
不陸修正					552.000	m2			
不陸修正 (車道部) 補足材料の有無(無し)					552.000	m2			施工P 第0008号代価表
調整コンクリート					17.000	m2			
コンクリート 構造物識別(無筋・鉄筋構造物), 施工条件(打設量10m3/日未満かつ高2m以下), コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 養生工の種類(養生無し), 現場内小運搬の有無(無し)					17.000	m3			施工P 第0009号代価表
アスファルト舗装工									
路盤工(歩道部)					417.000	m2			
路盤工(歩道部) 橋～No. 25 平均厚さ(75mm以上125mm以下), 材料(再生ク ラッシュラン RC-40)					417.000	m2			施工P 第0010号代価表
基層(車道部)					674.000	m2			
基層(車道部) 橋～No. 25 平均厚さ(45mm以上55mm未満), 平均幅員(1.4m以上), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種類(グライムコート PK-3)					552.000	m2			施工P 第0011号代価表
基層(橋車道部) 平均厚さ(35mm以上45mm未満), 平均幅員(1.4m以上), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種類(タックコート PK-4)					122.000	m2			施工P 第0012号代価表
中間層(車道部)					552.000	m2			
中間層(車道部) 橋～No. 25 平均厚さ(45mm以上55mm未満), 平均幅員(1.4m以上), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種類(タックコート PK-4)					552.000	m2			施工P 第0013号代価表
表層(車道・路肩部)					3,742.000	m2			

本工事費内訳書

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				表層(車道部)No. 1+0.4~橋まで 平均厚さ(45mm以上55mm未満),平均幅員(1.4m以上),材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類(タックコート PK-4)	3,620.000	m2			施工P 第0014号代価表
				表層(橋車道部) 平均厚さ(35mm以上45mm未満),平均幅員(1.4m以上),材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類(タックコート PK-4)	122.000	m2			施工P 第0015号代価表
				表層(歩道部)	572.000	m2			
				表層(歩道部)橋~No. 25 平均厚さ(25mm以上35mm未満),平均幅員(1.4m以上),材料(再生細粒度アスファルト混合物(13)),瀝青材料種類(グライムコート PK-3)	417.000	m2			施工P 第0016号代価表
				表層(橋歩道部) 平均厚さ(25mm以上35mm未満),平均幅員(1.4m以上),材料(再生細粒度アスファルト混合物(13)),瀝青材料種類(タックコート PK-4)	155.000	m2			施工P 第0017号代価表
				路盤工(取付道)	60.000	m2			
				路盤工(取付道) 材料(粒度調整砕石 M-30),平均厚さ(75mmを超え125mm以下)	60.000	m2			施工P 第0018号代価表
				橋面防水工					
				橋面防水	227.000	m2			
				シート系防水 作業区分(新設),床版排水(ドレーン)材の有無(有),床版排水(ドレーン)材数量(実数)(27 m/100m2),目地材の有無(有),目地材数量(実数入力)(38 m/100m2),施工規模(200m2未満),夜間作業補正(無)	122.000	m2			
				塗膜系防水 作業区分(新設),床版排水(ドレーン)材の有無(有),床版排水(ドレーン)材数量(実数)(39 m/100m2),目地材の有無(有),目地材数量(実数入力)(64.5 m/100m2),施工規模(200m2未満),夜間作業補正(無)	105.000	m2			
				縁石工					

本工事費内訳書

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
縁石工									
歩車道境界ブロック					17.000	m			
歩車道境界ブロック(切下用ブロック) 作業区分(設置),ブロック規格(各種(600mm以下、50kg未満)),基礎砕石の有無(有り),均し基礎コンクリートの有無(有り),養生工の有無(有り)					8.000	m			施工P 第0019号代価表
歩車道境界ブロック(斜) 作業区分(設置),ブロック規格(各種(600mm以下、50kg未満)),基礎砕石の有無(無し),均し基礎コンクリートの有無(無し)					1.000	m			施工P 第0020号代価表
歩車道境界ブロック 作業区分(設置),ブロック規格(B種(180/205×250×600)),基礎砕石の有無(無し),均し基礎コンクリートの有無(無し)					8.000	m			施工P 第0021号代価表
防護柵工									
防止柵工									
転落(横断)防止柵					413.000	m			
防護柵(横断・転落防止柵)設置工 施工区分(土中建込),防護柵種類(ビーム式・パネル式),支柱間隔(3m),根巻きコンクリートの有無(無し),施工規模による加算(100m以上(標準)),時間的制約を受ける場合の補正(無し),夜間作業の補正(無し)					413.000	m			
共通仮設									
共通仮設費									
安全費									
交通誘導警備員					14.000	人日			
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務(交替要員無し))					14.000	人日			

本 工 事 費 内 訳 書

第 29-01-111-3-755 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
直接工事費計									
共通仮設費（率計上）									
共通仮設費計									
純工事費									
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
契約保証費用									
工事費計									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 掘削

施工P(機45.34%, 労37.05%, 材17.61%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0.8m ³	45.340	%			K1
運転手 (特殊)	37.050	%			R1
軽油 1.2号 (陸上用)	17.610	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 施工方法	1	オープンカット
J04 押土の有無	2	無し
J05 障害の有無	1	無し
J06 施工数量	3	50,000m ³ 未満

第 0002 号 代価表 路体(築堤)盛土

施工P(機20.40%, 労73.53%, 材6.07%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (1次基準)] 3 t 級	10.210	%			K1
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量 3 ~ 4 t	10.190	%			K2
運転手 (特殊)	64.620	%			R1
普通作業員	8.910	%			R2
軽油 1. 2号 (陸上用)	6.070	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

J 0 1 条件名称
施工幅員

入力値
2

入力名称
2.5m以上4.0m未満

第 0003 号 代価表 床掘り

施工P(機45.51%, 労36.68%, 材17.81%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0.8m ³	45.510	%			K1
運転手 (特殊)	36.680	%			R1
軽油 1.2号 (陸上用)	17.810	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質区分	1	土砂
J02 施工方法	1	標準
J03 土留方式の種類	1	無し
J04 障害の有無	1	障害無し

第 0004 号 代価表 埋戻し

施工P(機7.05%, 労89.82%, 材3.13%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³	6.260	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.790	%			K2
普通作業員	54.600	%			R1
特殊作業員	26.800	%			R2
運転手 (特殊)	8.420	%			R3
軽油 1.2号 (陸上用)	2.390	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.740	%			Z2
			(標準単価 積算単価)	

J 0 1 条件名称
施工方法

入力値
4

入力名称
最大埋戻幅1m未満

第 0005 号 代価表 フレキャスト集水桝

施工P(機18.13%, 労75.45%, 材6.42%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 基 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³ 2.9t吊	15.110	%			K1
普通作業員	21.390	%			R1
運転手 (特殊)	18.790	%			R2
土木一般世話役	17.270	%			R3
特殊作業員	5.430	%			R4
軽油 1.2号 (陸上用)	5.350	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 製品質量 (kg/基)	4	800kgを超え1200kg以下
J 0 3 基礎碎石の有無	1	有り

第 0007 号 代価表 暗渠排水管

施工P(機0.00%, 労13.52%, 材86.48%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	9.630	%			R1
土木一般世話役	3.890	%			R2
暗渠排水管	86.480	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 管種別	1	直管
J 0 3 呼び径	2	200~400mm

第 0008 号 代価表 不陸整正

施工P(機31.92%, 労60.93%, 材7.15%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1 m	12.730	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10~12 t 締固め幅 2.1 m	9.910	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8~20 t	9.280	%			K3
運転手 (特殊)	36.750	%			R1
普通作業員	24.180	%			R2
軽油 1.2号 (陸上用)	7.150	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 補足材料の有無	1	無し

第 0009 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労29.85%, 材70.15%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	12.250	%			R1
特殊作業員	8.870	%			R2
土木一般世話役	6.780	%			R3
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉	70.150	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物識別	1	無筋・鉄筋構造物
J 0 2 施工条件	2	打設量10m3/日未満かつ高2m以下
J 0 3 コンクリート規格	26	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	1	養生無し
J 0 7 現場内小運搬の有無	2	無し

第 0010 号 代価表 下層路盤(車道・路肩部)

施工P(機7.76%, 労16.00%, 材76.24%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1m	2.840	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m	2.210	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8~20t	2.070	%			K3
運転手 (特殊)	8.200	%			R1
普通作業員	6.480	%			R2
再生クラッシャーラン RC-40	74.510	%			Z1
軽油 1.2号 (陸上用)	1.590	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	1	75mm以上125mm以下
J02 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40

第 0011 号 代価表 基層(車道・路肩部)

施工P(機3.53%, 労8.79%, 材87.68%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.910	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.530	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.530	%			K3
普通作業員	3.180	%			R1
特殊作業員	1.810	%			R2
運転手 (特殊)	1.770	%			R3
土木一般世話役	0.630	%			R4
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	79.960	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.280	%			Z2
軽油 1.2号 (陸上用)	0.370	%			Z3
			(標準単価 積算単価)	
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均厚さ	3	45mm以上55mm未満			
J02 平均幅員	2	1.4m以上			
J03 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)			
J04 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			

第 0012 号 代価表 基層(車道・路肩部)

施工P(機4.46%, 労11.10%, 材84.44%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	2.420	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.670	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.660	%			K3
普通作業員	4.010	%			R1
特殊作業員	2.290	%			R2
運転手 (特殊)	2.230	%			R3
土木一般世話役	0.800	%			R4
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	80.750	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	3.130	%			Z2
軽油 1.2号 (陸上用)	0.470	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均厚さ	2	35mm以上45mm未満			
J02 平均幅員	2	1.4m以上			
J03 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)			
J04 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4			

第 0013 号 代価表 中間層(車道・路肩部)

施工P(機3.71%, 労9.22%, 材87.07%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	2.010	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.560	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.550	%			K3
普通作業員	3.340	%			R1
特殊作業員	1.900	%			R2
運転手 (特殊)	1.850	%			R3
土木一般世話役	0.660	%			R4
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	84.000	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.610	%			Z2
軽油 1.2号 (陸上用)	0.390	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均厚さ	3	45mm以上55mm未満			
J02 平均幅員	2	1.4m以上			
J03 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)			
J04 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4			

第 0014 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.34%, 労8.33%, 材88.33%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.810	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.500	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.500	%			K3
普通作業員	3.010	%			R1
特殊作業員	1.720	%			R2
運転手 (特殊)	1.670	%			R3
土木一般世話役	0.600	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	85.570	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.350	%			Z2
軽油 1.2号 (陸上用)	0.350	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均厚さ	3	45mm以上55mm未満			
J02 平均幅員	2	1.4m以上			
J03 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J04 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4			

第 0015 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機4.04%, 労10.04%, 材85.92%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	2.190	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.610	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.600	%			K3
普通作業員	3.630	%			R1
特殊作業員	2.070	%			R2
運転手 (特殊)	2.020	%			R3
土木一般世話役	0.720	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	82.570	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.840	%			Z2
軽油 1.2号 (陸上用)	0.430	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均厚さ	2	35mm以上45mm未満			
J02 平均幅員	2	1.4m以上			
J03 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J04 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4			

第 0016 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機3.08%, 労21.81%, 材75.11%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m	2.300	%			K1
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	0.450	%			K2
普通作業員	8.200	%			R1
特殊作業員	5.630	%			R2
運転手 (特殊)	3.670	%			R3
土木一般世話役	1.980	%			R4
再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)	65.560	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	9.200	%			Z2
軽油 1.2号 (陸上用)	0.320	%			Z3
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	1	25mm以上35mm未満
J02 平均幅員	2	1.4m以上
J03 材料	18	再生細粒度アスファルト混合物 (13)
J04 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3

第 0017 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機3.28%, 労23.22%, 材73.50%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m	2.450	%			K1
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	0.480	%			K2
普通作業員	8.720	%			R1
特殊作業員	5.990	%			R2
運転手 (特殊)	3.910	%			R3
土木一般世話役	2.110	%			R4
再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)	69.780	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	3.340	%			Z2
軽油 1.2号 (陸上用)	0.340	%			Z3
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	1	25mm以上35mm未満
J02 平均幅員	2	1.4m以上
J03 材料	18	再生細粒度アスファルト混合物 (13)
J04 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4

第 0018 号 代価表 上層路盤(車道・路肩部)

施工P(機14.25%, 労29.38%, 材56.37%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1m	5.220	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m	4.060	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8~20t	3.800	%			K3
運転手 (特殊)	15.060	%			R1
普通作業員	11.900	%			R2
粒度調整碎石 M-30	53.180	%			Z1
軽油 1.2号 (陸上用)	2.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 材料	10	粒度調整碎石 M-30
J02 平均厚さ	8	75mmを超え125mm以下

第 0019 号 代価表 歩車道境界ブロック

施工P(機0.32%, 労63.21%, 材36.47%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	0.320	%			K1
普通作業員	19.470	%			R1
ブロック工	13.270	%			R2
型わく工	12.030	%			R3
土木一般世話役	9.320	%			R4
材料費	25.990	%			Z1
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉	9.240	%			Z2
再生クラッシャーラン RC-40	1.060	%			Z3
軽油 1.2号 (陸上用)	0.180	%			Z4
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 作業区分	1	設置
J02 ブロック規格	4	各種 (600mm以下、50kg未満)
J03 基礎碎石の有無	2	有り
J04 均し基礎コンクリートの有無	2	有り
J05 養生工の有無	2	有り

第 0020 号 代価表 歩車道境界ブロック

施工P(機0.00%, 労56.24%, 材43.76%, 市0.00%)

第 29-01-111-3-755号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ブロック工	22.380	%			R1
普通作業員	18.180	%			R2
土木一般世話役	11.040	%			R3
材料費	43.760	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	設置
J 0 2 ブロック規格	4	各種 (600mm以下、50kg未満)
J 0 3 基礎碎石の有無	1	無し
J 0 4 均し基礎コンクリートの有無	1	無し

第 0021 号 代価表 歩車道境界ブロック

施工P(機0.00%, 労50.83%, 材49.17%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 1 1 1 - 3 - 7 5 5 号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ブロック工	20.230	%			R1
普通作業員	16.440	%			R2
土木一般世話役	9.970	%			R3
歩車道境界ブロック 片面 180/205×250×600 (B)	49.170	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	設置
J 0 2 ブロック規格	2	B種 (180/205×250×600)
J 0 3 基礎碎石の有無	1	無し
J 0 4 均し基礎コンクリートの有無	1	無し

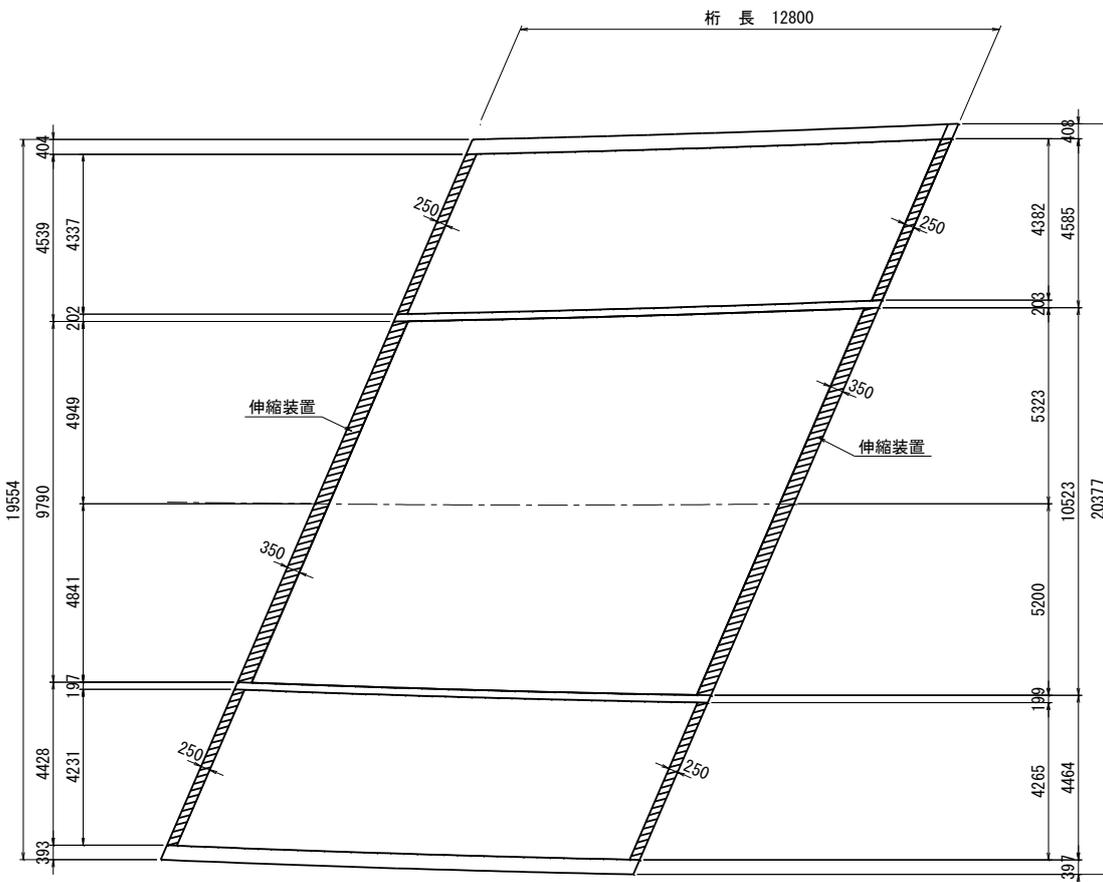
数量計算総括表

工事名:29国補・市道B3755号線 道路舗装工事 工事箇所:石岡市上曽地内

工種	種別	規格	数式		数量	単位
土工						
	掘削		417.0 × 0.13	= 54.2	54.0	m ³
	床掘		24.9	= 24.0	24.0	m ³
	埋戻し		11.6	= 11.0	11.0	m ³
排水構造物工						
	排水フリューム	300x300	No.5 ~ No.7 14m+37m+2m	53.0	53.0	m
			No.20付近左側法面下	30.0	30.0	m
	排水フリューム蓋	300用	No.22付近右側法面下	35.0	35.0	m
	集水枡	500 x 500		1.0	1.0	基
	暗渠排水管	VP φ 200		26.0	26.0	m
舗装工						
	表層工(車道部)	再生密粒度As(20) t=50	3620.0	= 3620.0	3620.0	m ²
	表層工(橋車道部)	再生密粒度As(20) t=40	122.2	= 122.0	122.0	m ²
	基層(橋車道部)	再生粗粒度As(20) t=40	122.2	= 122.0	122.0	m ²
	表層工(橋歩道部)	再生密粒度As(13) t=30	105.4 + 50.0 (橋台歩道部分4箇所)	= 155.0	155.0	m ²
	不陸整正工(車道部)	補足材なし	552.0	= 552.0	552.0	m ²
	基層(車道部)	再生粗粒度As(20) t=50	552.0	= 552.0	552.0	m ²
	中間層(車道部)	再生粗粒度As(20) t=50	552.0	= 552.0	552.0	m ²
	表層工(歩道部)	再生密粒度As(13) t=30	417.0	= 417.0	417.0	m ²
	路盤工(歩道部)	RC-40 t=100	417.0	= 417.0	417.0	m ²
	路盤工(取付道)	M-30	60.0	= 60.0	60.0	m ²
	中詰めコンクリート		17.2	= 17.0	17.0	m ²
縁石工						
	歩車道境界ブロック		8.8	= 8.0	8.0	m
	歩車道境界ブロック(斜)		1.2	= 1.0	1.0	m
	歩車道境界ブロック(平)		8.0	= 8.0	8.0	m
転落防止柵			115.0 + 36.0 + 60.0 + 41.0	= 413.0	413.0	m
			41.0 + 15x8			
路体盛土	流用土				100.0	m ³

数 量 計 算 書

測点	距離	表層(車道)			路盤工 M-30		
		断面積(法長)	平均積(長)	立(平)積	断面積(法長)	平均積(長)	立(平)積
No.1+0.4	0.00	12.20					
No.1+15.46	15.00	10.20	11.20	168.00			
No.2	4.50	10.20	10.20	45.90			
No.3	20.00	10.20	10.20	204.00			
No.4	20.00	10.20	10.20	204.00			
No.5	20.00	9.80	10.00	200.00			
No.6	20.00	8.80	9.30	186.00			
No.7	20.00	7.80	8.30	166.00			
No.8	20.00	7.20	7.50	150.00			
No.9	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.10	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.11	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.12	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.13	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.14	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.15	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.16	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.17	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.18	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.19	20.00	7.20	7.20	144.00			
No.20	20.00	7.80	7.50	150.00			
No.20+11.46	11.460	8.60	8.20	93.97			
No.20+19.8	8.000			70.00			
No.20+19.8~橋まで	5.500	9.70		53.30			
踏掛板A	5.000	10.00		50.00			
踏掛板B	5.000	10.00		50.00			
取付道④左	13.000			88.40			
取付道④右	17.000			96.90			
取付道⑤左	10.000			30.00			30.00
取付道⑤右	10.000			30.00			30.00
計	464.460			3620.47			60.00



【 車道部 】

平均厚

$$t = 0.095 \text{ m}$$

(設計計算書 橋面荷重の計算より)

1. アスファルト舗装

$$t_a = 0.080 \text{ m}$$

$$A = \text{CAD上にて算出 (伸縮装置後打ちCON部 : } = 122.244 \text{ m}^2$$

$$V_1 = 0.080 \times 122.244 = 9.780 \text{ m}^3$$

2. 均しアスファルト

$$t_c = 0.015 \text{ m}$$

$$V_2 = 0.015 \times 122.244 = 1.834 \text{ m}^3$$

【 歩道部 】

・平均厚

(設計計算書 橋面荷重の計算より)

[左歩道]

$$t = 0.264 \text{ m}$$

[右歩道]

$$t = 0.122 \text{ m}$$

・舗装面積

[左歩道]

$$A_L = \text{CAD上にて算出 (伸縮装置後打ちCON部 控除)} = 53.426 \text{ m}^2$$

[右歩道]

$$A_R = \text{ // } = 52.061 \text{ m}^2$$

$$A = 105.487 \text{ m}^2$$

1. 全体体積

$$\Sigma V = 0.264 \times 53.426 + 0.122 \times 52.061 = 20.456 \text{ m}^3$$

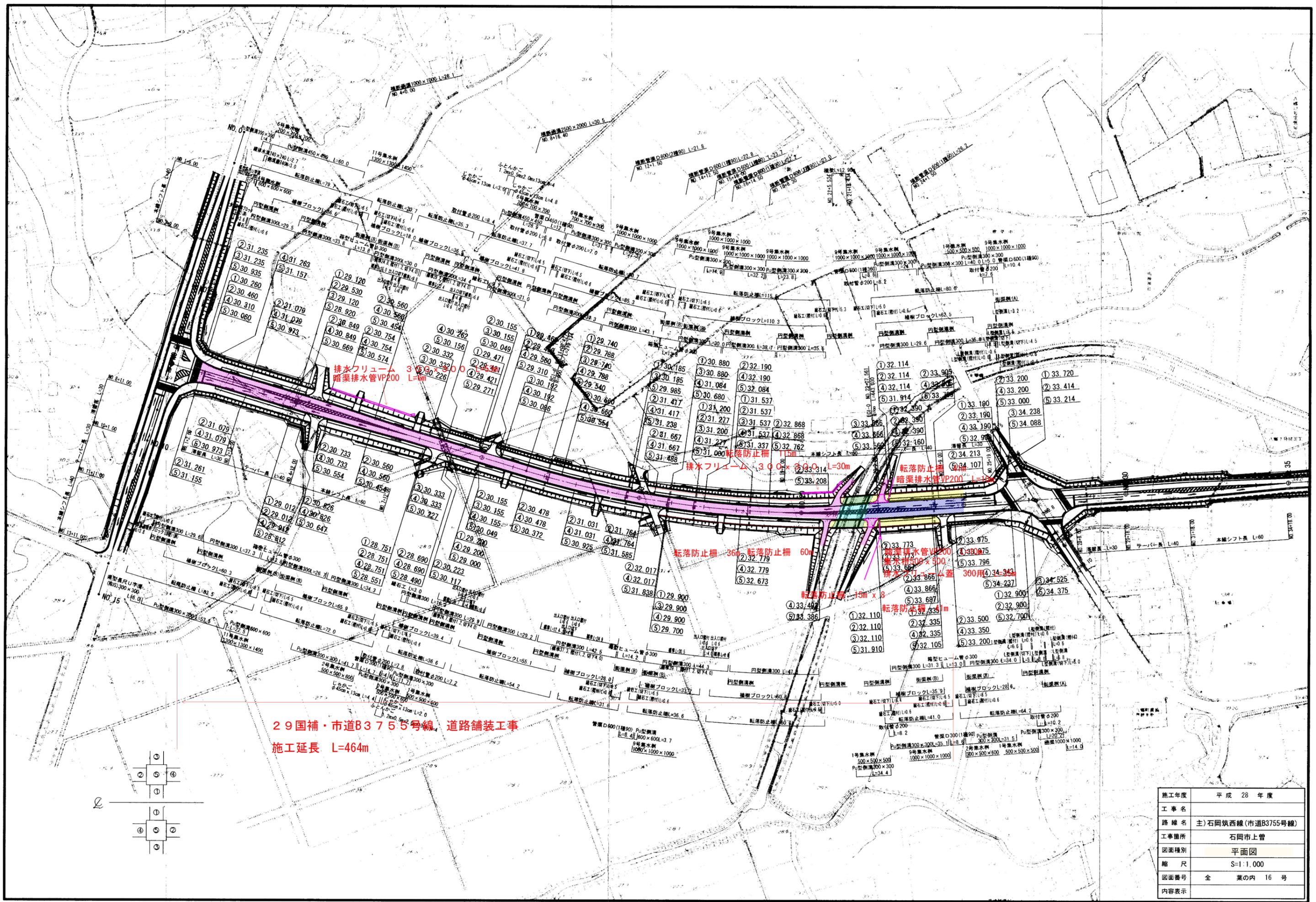
2. アスファルト舗装

$$t_a = 0.030 \text{ m}$$

$$V_a = 0.030 \times 105.487 = 3.165 \text{ m}^3$$

3. 中詰コンクリート ($\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$)

$$V_c = 20.456 - 3.165 = 17.291 \text{ m}^3$$



29国補・市道B3755号線 道路舗装工事
 施工延長 L=464m

施工年度	平成 28 年度
工事名	
路線名	主)石岡筑西線(市道B3755号線)
工事箇所	石岡市上曾
図面種別	平面図
縮尺	S=1:1,000
図面番号	全 葉の内 16 号
内容表示	

